

経営比較分析表（令和6年度決算）

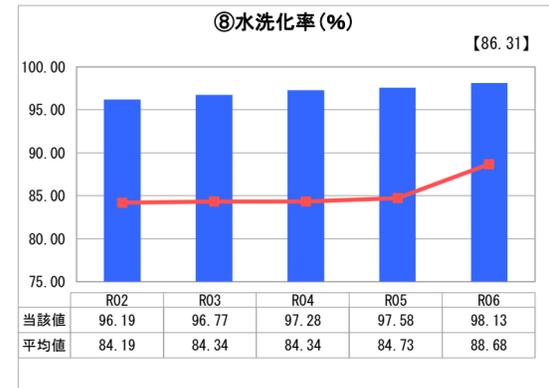
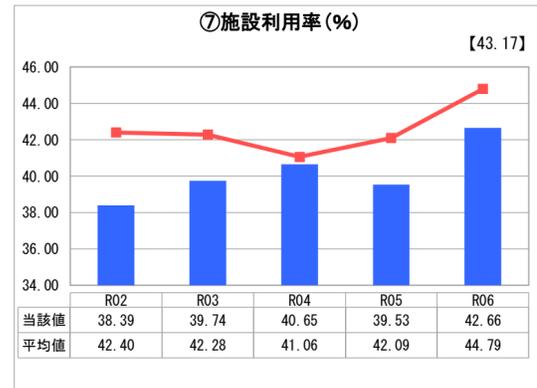
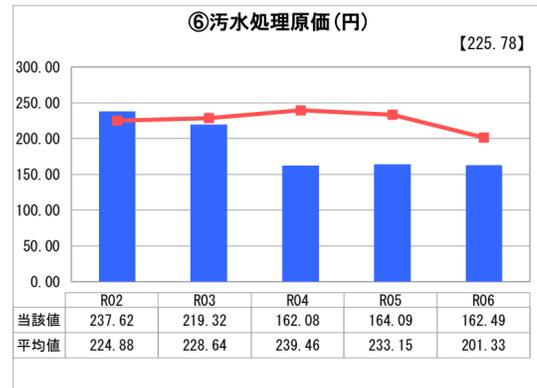
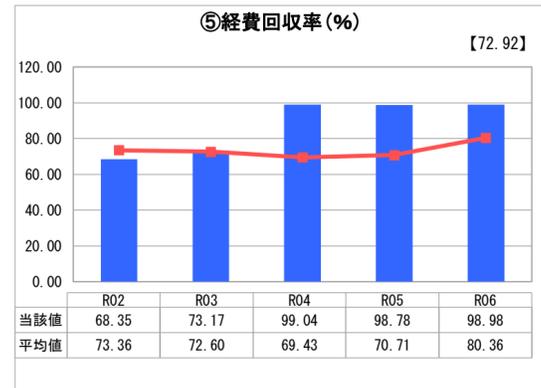
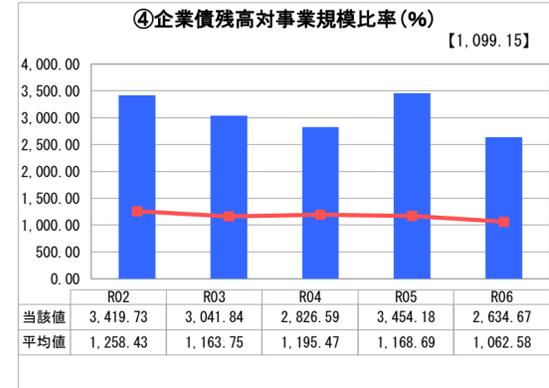
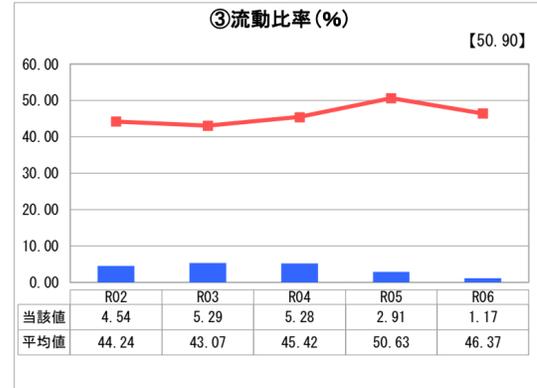
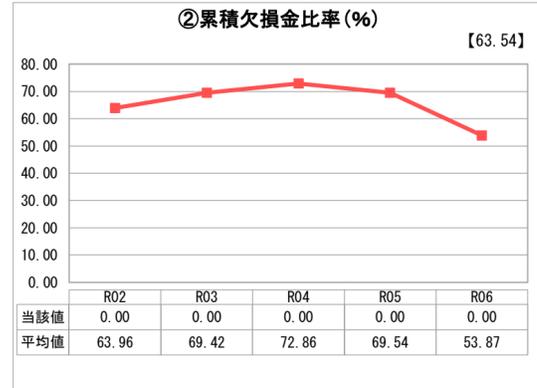
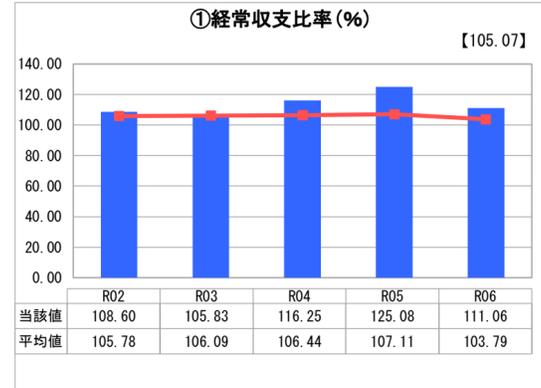
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.08	12.46	71.89	3,410

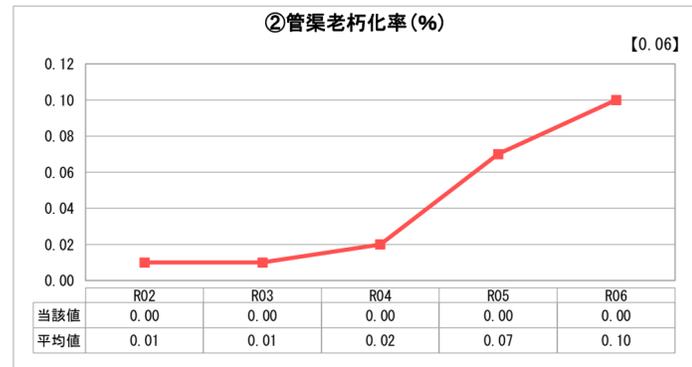
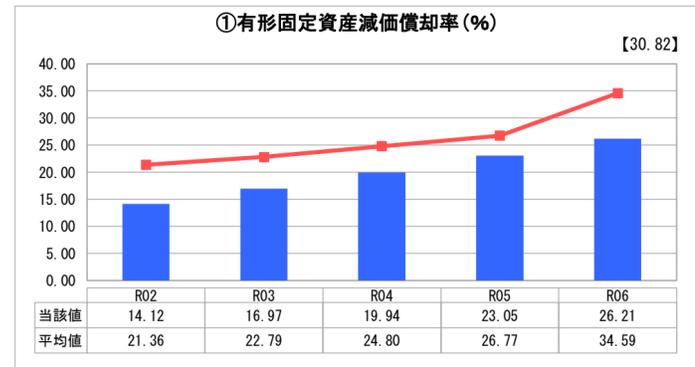
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,500	318.26	146.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,735	4.11	1,395.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率がかなり低い数値となっているが、流動負債に建設改良に充てた企業債が多く含まれており、今後の使用料の改定により一部をその償還に充ててを予定している。
 ④R5は令和6年能登半島地震により有収水量が減少(1~3月分水量ゼロ)したため、R5は企業債残高対事業規模比率は大幅に悪化した。有収水量の増加(20%増)及び企業債償還が進んだことにより低下した。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価は有収水量の増加により、数値が若干改善している。
 ⑦施設利用率は、震災による不明水量の増加により上昇した。今後も農業集落排水事業からの統合が計画されており、数値の改善が見込まれる。
 ⑧水洗化率は、類似団体と比べ高く、毎年接続者がいるため増加傾向となっている。

2. 老朽化の状況について

管渠は、更新工事を必要とする老朽化は見られないが、震災により多くの施設が被災したため、災害復旧事業を優先する。マンホールポンプは、処理場近くの稼働率の高いポンプ等で修繕や更新を行っている。
 処理場は、機械設備や電気設備の老朽化に伴い更新が必要な状況にあり、長寿命化計画に基づき順次対応している。

全体総括

更なる水洗化率、収納率の向上と使用料の見直しにより収入の確保に努め、処理区に隣接する農業集落排水事業など他の事業との処理区の統合を行い、施設利用率を上げることにより経費回収率の向上や汚水処理原価の低下を図る。
 管渠や処理場等の更新事業については、災害復旧事業を最優先とし、将来的な処理水量等を適切に把握し、施設規模の見直しなどにより更新費用の削減を図る。また、更新需要を適切に反映させた更新計画を計画的に実施することで費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。
 なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業法の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。